

松伏町立松伏中学校だより

<http://matsubushi.ed.jp/matutyu/>

翔べ！松中生

令和3年度 第9号 1月7日発行

「2022年のスタートに向けて」！

校長 齋藤 明

新年、明けましておめでとうございます！

2022年（令和4年）の3学期が始まりました。

今年は「寅年」という事は皆さんもご存じだと思いますが、本来の干支でいうと壬寅（みずのえ・とら）と言って、寅年であること以外にも込められた意味があります。干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干（じっかん）」と「十二支（じゅうにし）」を組み合わせたものです。この組み合わせは60種類あるので、実に60年ぶりの壬寅（みずのえ・とら）となります。

ちなみに、去年は、干支は「辛丑（かのと・うし）」で、「辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になる。」という意味がありました。去年を振り返ると、コロナの影響で生活が制限されて不安になったり、やりたいことができないなど辛い日々が多くありました。しかし、オリンピック・パラリンピックでの日本の活躍から勇気をもったり、コロナの感染減少で学校行事が実施でき、今後の生活に希望の光が見えてくるなど、干支の持つ意味と重なりましたね！

今年の干支の、壬寅（みずのえとら）は、どうかというと「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しているようなので、良い年にしたいですね。

そこで、今年松中生として皆さんに頑張りたい柱は、知（学力）・徳（豊かな心）・体（体力）の3つの向上です。徳（豊かな心）については、日頃の生活で感じるあいさつの良さや仲間と協力して、より良く生活しようとする姿などから立派に成長していて素晴らしいと思います。これからも松中生の「よさ」として、自信を持って続けていきましょう。

知（学力）・体（体力）の2つについては、今年の課題として学校全体で「ONE TEAM」で頑張りたいと思います。

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。年の始まる節目に新鮮な気持ちで目標を立てることは、とても大事なことです。そして、その目標を実行していく事でとても充実した一年を過ごす事ができます。

学力や体力の向上は、すぐに結果が出る簡単なものではありません。各自で目標を設定したら、毎日我慢してでもそれをやり続けることです。続けることによって、徐々に心や体が慣れていき習慣化されます。それをさらに、粘り強く続けることで本当の力がつき、目標が達成されていくのです。

今年の干支の意味を信じて、目標に向かって立ち上がり、成長を信じて頑張っていこう。

頑張る皆さんは一人ではありません。みんなで取り組み、学校全体で「ONE TEAM」となることで目標はきっと達成できます。

「学び合い・支え合い・高め合う生徒」であれ！ 頑張れ 輝け 松中生！

